

伊藤信吉 —上州に回帰した詩人— 関連資料リスト

図書館講座「郷土にかがやく人々—中毛編—」

第2回 平成24年8月9日(木)「伊藤信吉 —上州に回帰した詩人—」と連動し、

本館所蔵の伊藤信吉関連資料の一部を展示します。

展示期間:平成24年6月23日～平成24年8月24日

群馬県立図書館 調査相談室

伊藤信吉(いとう・しんきち)略歴 詩人・文芸評論家

1906(明治39)年、群馬郡元総社村(現前橋市元総社町)の農家の長男に生まれる。幼少時から文芸に触れ、13歳の時『藤村詩集』で抒情小曲の魅力にふれる。県庁雇員時代に萩原朔太郎の『月に吠える』に感動。友人の紹介で二十歳年上の朔太郎を北曲輪町に訪ね、終生師事する。詩誌『街』『耽美祭』を刊行。同村の萩原恭次郎や前橋に移住した草野心平等とも交流を深め詩誌『学校』に参加。昭和5年、職を辞し上京。朔太郎に室生犀星を紹介され、中野重治も知る。プロレタリア詩人会の結成に参加し、『ナップ』の編集実務を担当。昭和7年、治安維持法違反で検挙されるが起訴猶予となり、プロレタリア文学運動から離脱、前橋に戻る。帰郷の翌年、26歳で第一詩集『故郷』を出版。以後長い間詩作を断ち、文芸評論の道を歩む。上毛新聞等の記者をしながら、『島崎藤村の文学』『土の唄と民話』『現代詩人論』を刊行。朔太郎の没後、四度にわたる『萩原朔太郎全集』の編集に尽力した。戦後は名著『現代詩の鑑賞』を始め、『高村光太郎』『萩原朔太郎』『ユートピア紀行』『逆流の中の歌』等を発表。その後、生涯を回顧し詩作を再開。70歳で第二詩集『上州』を発表後、『天下末年』『望郷蛮歌 風や天』『上州おたくら』『私のイヤリング』『老世紀界限で』等を次々と刊行した。老齢になって古里に取材した詩や文章を多く発表。『回想の上州』『風色の望郷歌』『郷土望景詩をめぐって』『上州の空の下』『マックラサンベ 私の方言 村ことば』等、精神的な故郷回帰が見られる。前橋市広瀬川河畔には詩碑が建設されている。平成8年、90歳で群馬県立土屋文明記念文学館の初代館長に就任し『群馬文学全集』全20巻の企画・監修に当たったほか、『監獄裏の詩人たち』を刊行。多年の文学的業績に対し、1998年度日本芸術院恩賜賞が授与された。2002(平成14)年8月、95歳で他界したが日本詩壇のための業績、貢献は計り知れない。

【図書】(書名 著者名 出版者 出版年 請求記号 貸出用有に○)

《詩集》

『天下末年 伊藤信吉詩集』伊藤信吉著 新日本出版社 1977 K915.6 I89 ㊦74 ○

『風や天 望郷蛮歌』伊藤信吉著 集英社 1979 K915.6 I89 ㊦95

『故郷 詩集』伊藤信吉著 中外書房 1933 K915.6 I91 ㊦34 p.286 詩的紀行覚え書

『上州 伊藤信吉詩集』伊藤信吉著 麦書房 1976 K915.6 I91 ㊦6Y ○

『伊藤信吉詩集 (世界の詩75)』伊藤信吉著 山室静編 弥生書房 1982 K915.6 I91 ㊦25 ○

『伊藤信吉詩集 (現代詩文庫1040)』伊藤信吉著 思潮社 1989 K915.6 I91 ㊦99 ○

『上州おたくら 私の方言詩集』伊藤信吉著 思潮社 1992 K915.6 I91 ㊦29 ○

『私のイヤリング 詩集』伊藤信吉著 青娥書房 1994 K915.6 I91 ㊦4Y ○

『老世紀界限で』伊藤信吉著 集英社 2001 K915.6 I91 ㊦1Y ○

《著作集》

『伊藤信吉著作集 第1巻～第7巻』伊藤信吉著 沖積舎 2002-2003 K908 I89 ㊦1Y-1～7 ○

第1巻 島崎藤村の文学、近代文学の精神、作家論、第2巻 萩原朔太郎 1浪漫的に、萩原朔太郎 2虚無的に、烈風の中に立ちて:萩原朔太郎と萩原恭次郎、黒い鐘楼の下で:萩原朔太郎 その文化的自由主義、郷土望景詩をめぐって、詩人たちの年譜、小篇六点、第3巻 高村光太郎:その詩と生涯、亡命・高村光太郎、逆流の中の歌:詩的アナキズムの回想、佐藤緑葉の文学:上州近代の作家、第4巻 室生犀星、中野重治、詩の世界、契合点の詩人たち、邂逅点の詩人たち、監獄裏の詩人たち、第5巻 現代詩の鑑賞、詩のふるさと・詩をめぐる旅、第6巻 ユートピア紀行、詩的紀行 日本の廢墟、風色の望郷歌、抒情小曲論、第7巻 故郷、上州、天下末年、望郷蛮歌:風や天、上州おたくら、私のイヤリング、老世紀界限で、「マヴォ」とダダ、大逆事件・上州余波、プロレタリア詩の回想、金龍濟・日本追放の詩人

《句集》

『たそがれのうた 伊藤信吉全句集(風の花冠文庫)』伊藤信吉著 鬘の会 2004 K913.6 I89 ㊦4Y ○

《評論・研究・エッセイ》

『昔話とわらべうた』伊藤信吉著 四元社 1942 K388 ㊦24

『伝承の世界』伊藤信吉著 三鳩社 1946 K388 ㊦66

『土の唄と民話』伊藤信吉著 四元社 1939 K388.9 ㊦9X

『マックラサンベ 私の方言 村ことば』伊藤信吉著 川島書店 2000 K810 ㊦0Y ○

『抒情小曲論』伊藤信吉著 青娥書房 1969 K901 I91 ㊦9Y

『近代文学の精神』伊藤信吉著 有光社 1943 K902 I91 ○

『作家論』伊藤信吉著 利根書房 1942 K902 ㊦26

『ユートピア紀行』伊藤信吉著 講談社 1973 K902 ㊦38 ○

『島崎藤村の文学』伊藤信吉著 第一書房 1936 K902.8 I91 ㊦62 ○

『近代文学論 藤村その他』伊藤信吉著 和田堀書店 1948 K902.8 I91 ㊦8Y

『私の詩的地帯』伊藤信吉著 弥生書房 1973 K902.8 I91 ㊦3X ○

『佐藤緑葉の文学 上州近代の作家』伊藤信吉著 塙書房 1999 K902.8 S85 ㊦93 ○

『島崎藤村』伊藤信吉著 和田堀書店 1947 K902.8 SH45 ㊦71

『高村光太郎 その詩と生涯』伊藤信吉著 新潮社 1958 910.268 Ta45 3 ○

- 『現代詩の鑑賞 上巻 (文庫)』伊藤信吉著 新潮社 1979 911.5 I91 (1) ○
- 『現代詩の鑑賞 下巻 (文庫)』伊藤信吉著 新潮社 1979 911.5 I91 (2) ○
- 『詩の世界 その享受と鑑賞』伊藤信吉著 社会思想社 1967 K915 I91 ヅ78 ○
- 『ぎたる弾くひと 特装版 萩原朔太郎の音楽生活』伊藤信吉著 麥書房 1971 K915.02 H14 テ1Y ○
- 『烈風の中に立ちて 萩原朔太郎と萩原恭次郎』伊藤信吉著 静地社 1981 K915.02 H14 ト17 ○
- 『黒い鐘楼の下で 萩原朔太郎・その文化的自由主義』伊藤信吉著 麦書房 1982 K915.02 H14 ト23 ○
- 『郷土望景詩をめぐって』伊藤信吉著 煥乎堂 1987 K915.02 H14 ト7X ○
- 『回想の上州 その詩的風土に沿って』伊藤信吉著 あさを社 1977 K915.02 I91 ○
- 『現代詩人論』伊藤信吉著 河出書房 1940 K915.02 I91 タ07 ○
- 『逆流の中の歌 詩的アナキズムの回想』伊藤信吉著 七曜社 1963 K915.02 I91 ヅ3Y ○
- 『金沢の詩人たち』伊藤信吉著 白楽 1988 K915.02 I91 ト85 ○
- 『詩人たちの年譜』(こつう豆本105) 伊藤信吉著 日本古書通信社 1993 K915.02 I91 ナ39 ○
- 『紀行ふるさとと詩』伊藤信吉著 講談社 1977 K915.02 I91.1 テ74
- 『高村光太郎研究』伊藤信吉著 思潮社 1966 K915.02 Ta45 ヅ68 ○
- 『鑑賞現代詩 2 大正篇』伊藤信吉著 筑摩書房 1962 K915.02 ヅ21
- 『萩原朔太郎 1 浪漫的に』伊藤信吉著 北洋社 1976 K915.08 H14 35(1) ○
- 『萩原朔太郎 2 虚無的に』伊藤信吉著 北洋社 1976 K915.08 H14 35(2) ○
- 『詩のふるさと』伊藤信吉著 新潮社 1966 K915.6 I91 ヅ6Z
- 『詩の旅』伊藤信吉写真・文 弥生書房 1972 K915.6 I91 テ23
- 『監獄裏の詩人たち』伊藤信吉著 新潮社 1996 K946 I89 ナ6X ○
- 『風色の望郷歌』伊藤信吉著 朝日新聞社 1984 K946 I91 ト45 ○
- 『風色の望郷歌 上 郷土版』伊藤信吉著 煥乎堂 1991 K946 I91 ナ14(1) ○
- 『風色の望郷歌 下 郷土版』伊藤信吉著 煥乎堂 1991 K946 I91 ナ14(2) ○
- 『上州の空の下』伊藤信吉著 煥乎堂 1993 K946 I91 ナ3Y ○
- 『風色の望郷歌』伊藤信吉著 煥乎堂 1995 K946 I91 ナ55
- 『詩的紀行日本の廃墟』伊藤信吉著 講談社 1977 K956 I91 テ77 ○
- 『早稲田文学』早稲田文学編集室編 早稲田文学会 K902.8 S85 ト53
- No.106 1985.3 p.88-101時代閉塞の谷間で 佐藤緑葉論1 「トルストイの思想と文学」をめぐって 伊藤信吉
- No.108 1985.5 p.92-103 反戦小説の翻訳 佐藤緑葉論2「近代思想 寄稿とその社会主義的往来 伊藤信吉
- No.109 1985.6 p.88-100 二人の革命家像 佐藤緑葉論3 大杉栄、荒畑寒村を主体とする中篇作品 伊藤信吉
- 『上毛文学』上毛文学社編 上毛文学社 1936 K905 ヅ53 (2-3)(2-6)
- 第2巻第3号 昭和11年7月号 p.29-34 アンナカレニナの感想-第二 伊藤信吉
- 第2巻第6号 昭和11年11月号 p.38-45 プーシキンの詩に就て 伊藤信吉
- 『上毛文学 第3巻第2号 昭和12年2月号』上毛文学社編 上毛文学社 1937 K905 ヅ53 (3-2)
- p.12-21 作家精神の頹敗 伊藤信吉
- 『萩原朔太郎』前橋高校文芸部編 前橋高校文芸部 1957 K915.02 H14 チ7X
- p.44-47 萩原朔太郎詩碑をめぐって 伊藤信吉
- 『ユリイカ 第4巻第5号 1972.4 臨時増刊 総特集:萩原朔太郎』青土社 1972 K915.02 H14 テ24
- p.39-47 萩原朔太郎の思想的交友 伊藤信吉
- 『現代詩読本』思潮社 p.15-29 討議 伊藤信吉 那珂太郎 飯島耕一、資料 伊藤信吉 佐藤房儀
- 『萩原朔太郎 文芸読本 新装版』河出書房新社 1984 K915.02 H14 ト45 p.46-59 萩原朔太郎論 伊藤信吉
- 『萩原朔太郎 郷土望景の詩』伊藤信吉文 小松健一撮影 煥乎堂 1986 K915.02 H14 ト60 ○ 萩原朔太郎生誕100年記念 写真スケッチ集
- 『萩原朔太郎 (群像日本の作家)』小学館 1992 K915.02 H14 ナ27 p.18-24 家庭崩壊の日に 伊藤信吉、p.24 9- 萩原朔太郎の詩 伊藤信吉選 p.251-250 近代詩の典型として 伊藤信吉
- 『室生犀星 戦争の詩人・避戦の作家』伊藤信吉著 集英社 2003 K915.02 MU74 ニ37 ○
- 『萩原朔太郎詩集 (角川文庫1140)』萩原朔太郎著 伊藤信吉編 角川書店 1974 K915.6 H14 テ44
- p.202-219 解説 伊藤信吉
- 《共著・共編》
- 『街 3月号』伊藤信吉編輯 街社 1927 K905 セ73 p.16 圓戯 伊藤信吉
- 『学校の詩・サークルの詩 (ポエム・ライブラリイ5)』伊藤信吉〔ほか〕著 創元社 1955 911.5 I91 2 ○
- p.228-265 生活の岸辺に 働く人たちの詩—生活性の文学について 伊藤信吉
- 『社会派アンソロジー集成』下-[8] 社会派アンソロジー集成 別巻 (日本社会主義文化運動資料23) 戦旗復刻版刊行会 1984 911.56 ト36 (3-8) p.1-36 現代詩の社会的系譜の成果 解説として 伊藤信吉
- 『萩原朔太郎と詩的風土』伊藤信吉編 上毛新聞社 1981 K915.02 H14 ト18 ○
- 『萩原恭次郎の世界』伊藤信吉編 川浦三四郎編 煥乎堂 1987 K915.02 H14.1 ト76 ○
- 『プロレタリア詩の諸問題』中野重治編 叢文閣 1932 K915.02 I91 ヅ26
- 主題の積極性に関連して、労働者詩人とその組織、組織方法に関する若干の考察、自主的「詩人委員会」の問題、詩の専門的分化活動、カンパの詩とその持込み、新たなる段階に於ける活動のために、短歌の史的発展に関する一考察、セルゲイ・エセーニンに関する断片、近年に於けるプロレタリア詩の概観 伊藤信吉

- 『萩原朔太郎全書簡集』〔萩原朔太郎〕著 京都 人文書院 1974 K915.08 H14 25 ○
p.450-451 編集後記 伊藤信吉
- 『ナップ七人詩集』中野重治編輯 白揚社 1931 K915.6 I91 ヲIZ p.125-182 伊藤信吉集 河、霜、ぬか雨に濡れて、海流、燕 一、川沿ひに、夜風の中を、秋、坂、引越しの日、雪 一、雪 二、燕 二、信号 一、
- 『明日は天気だ 上州詩集』草野心平著 伊藤信吉編 煥乎堂 1997 K915.6 KU84 ナ7X ○ 『学校』の詩人
p.92-93 四人 伊藤信吉、p.125-127 『学校詩集』をめぐる記 伊藤信吉
- 『高橋元吉詩集』高橋元吉著 河出書房新社 1962 K915.6 Ta33.1 2 p.228-229 編集後記 伊藤信吉
- 『プロレタリア詩集 2』（日本プロレタリア文学集39）伊藤信吉〔ほか〕著 新日本出版社 1987 918.6 ト5Y (39) ○
p.17-33 伊藤信吉 五月の霜、燕二、嵐の中に、朝の歌、雪一、ぬか雨に濡れて、河、家系、夜風の中を、手紙に代えて、故郷第三
- 『赤い襟章 松山達枝作品集』松山達枝著 伊藤信吉編 青磁社 1991 K936 Ma91 ナ15 ○
p.96-119 作品集に添える回想 伊藤信吉
- 『文学の旅 4 関東1』大阪 千趣会 1972 S-12092
p.29-44 詩の町前橋から伝説の館林へ、p.62-72日光の湖畔から伝統の町足利へ、p.89-100水の里潮来から波しぶく磯原へ、p.117-128 九十九里浜から手賀沼の岸べへ、p.158-166黒潮の香と風のなかの思い 本文:伊藤信吉
- 『文学の旅 8 北陸・能登』1972 S-12096
p.29-44 抒情の雪国から荒波の佐渡へ、p.61-72 明暗織りなす物語 海と町と雪嶺と、p.89-100 伝統の城下町と波しぶく能登路、p.117-128 荒磯にゆれる水仙と古寺ひそかな若狭路、p.159-167 荒海を背にかがやく詩魂 本文:伊藤信吉
- 《編著》
- 『萩原朔太郎』（日本文学アルバム17）構成解説:伊藤信吉 撮影:大竹新助 筑摩書房 1956 910.26 N77.1 (17)
○ p.65-77 萩原朔太郎 伊藤信吉
- 『日本の詩歌』中央公論社 1967-1970 911 N77.1 1 島崎藤村 10 高村光太郎 14 萩原朔太郎 15 室生犀星 21 金子光晴・吉田一穂・村野四郎・草野心平 26 近代詩集 27 現代詩集 鑑賞:伊藤信吉
- 『藤村のうた』（現代教養文庫505）島崎藤村〔著〕社会思想社 1975 911.56 Sh45 2 ○
- 『光太郎のうた』（現代教養文庫393）〔高村光太郎著〕伊藤信吉編 社会思想社 1977 911.56 Ta45 3
- 『朔太郎のうた』（現代教養文庫484）萩原朔太郎著 伊藤信吉編著 社会思想社 1964 K915.02 H14 ヲ47
- 《編集》
- 『現代日本詩人全集』創元社 1953-1955 911.56 G34 解説 伊藤信吉
- 『萩原朔太郎研究』伊藤信吉編 思潮社 1972 K915.02 H14 テ29 ○
- 『萩原朔太郎全集』萩原朔太郎著 筑摩書房 1977 K915.6 H14.3 テ75 ○
- 第12巻 解題 伊藤信吉等、第15巻 補訂版 p.331-477 萩原朔太郎年譜 伊藤信吉 佐藤房儀編、補巻 伊藤信吉〔ほか〕編 筑摩書房 1989 K915.6 H14.3 ト6X(16) ○
- 『萩原朔太郎全詩集』萩原朔太郎著 筑摩書房 1979 K915.6 H14.3 テ9Z ○ p.867-880 年譜 伊藤信吉編
- 『学校詩集 1929年版』学校詩集発行所 1929 K915.6 I91 セ9Z ○ p.43-44 五月の霜、p.45-46 裏日本へ
p.47-48 トランク
- 『利根の砂山 上州詩集』室生犀星〔著〕伊藤信吉編 煥乎堂 1994 K915.6 MU76 ナ46 ○
p.34 小出河原のこと p.117 一明館のおもかげ-犀星の宿)、p.122-126 「野火」の誌と曲、p.127-132 抒情小曲の思い出 伊藤信吉、覚え書、写真
- 『日本文学全集 カラー版 別巻2現代詩歌集』伊藤信吉編 河出書房新社 1967 E-09793
p.382-383 編集覚書、p.385-414 解説 伊藤信吉
- 『萩原朔太郎全集 1-10』〔萩原朔太郎著〕室生犀星編 小学館 1943-1944 918.6 H14 (1)-(10)
- 『萩原朔太郎全集 1-5』新潮社 1975 918.6 H14 2(1)-2(5)
- 『萩原朔太郎全集 1-5、月報』新潮社 1959 918.6 H14 2(1)-2(6)
- 《略歴》
- 『群馬新百科事典』上毛新聞社 2008 K030 ナ83 ○ p.62 伊藤信吉
- 『前橋市史 第5巻』前橋市史編さん委員会編 前橋市 1984 K222 Ma26.1 (5) ○ p.434-435 伊藤信吉
- 『郷土歴史人物事典群馬』萩原進著 第一法規 1992 K281.3 H14 ○ p.220 伊藤信吉
- 『上州の顔』〔東京新聞編〕東京新聞前橋支局 1992 K281.3 トIZ ○ p.96 伊藤信吉
- 『群馬県人名大事典』〔上毛新聞社編〕上毛新聞社 1992 K281.3 ト2Y ○ p.60 伊藤信吉
- 『日本現代詩辞典』分銅惇作〔ほか〕編 桜楓社 1986 911.52R ト62 p.50-51 伊藤信吉
- 《伊藤信吉研究》
- 『伊藤信吉展-追悼・上州烈風の詩人- 伊藤信吉 その文学的軌跡 詩と評論』第15回企画展 群馬県立土屋文明記念文学館編 2003 K906 ナ67 (15) p.3-21 伊藤信吉さんと私、p.24-45 第1部 誕生～第2詩集『上州』直前、p.46-56 第2詩集『上州』～評論「室生犀星」
- 『伊藤信吉追悼資料展目録』群馬県立図書館編 群馬県立図書館 2002 K915.02 ナ91 ナ28
- 『鳩よ!』第11巻第4号113号1993年4月号 特集:萩原朔太郎(永劫の魂に吠える) マガジンハウス 1993.4 K915.02 H14 ナ34 p.22-25 上州の空の下の詩人 伊藤信吉
- 『伊藤信吉 近代詩・現代詩そして郷土詩の途』萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館編 萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館 1995 K915.02 I91 ナ5Y ○
- 『伊藤信吉 書誌／1995』竜沢友子編 煥乎堂 1995 K915.02 I91 ナ55 ○
- 『伊藤信吉 群馬における文化的足跡』(みやま文庫184) 野口武久著 みやま文庫 2006 K915.02 I91 ナ6Y ○

『伊藤信吉生誕100年記念:伊藤信吉論』 萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館編 萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館 2006 K915.02 I91 =6Z ○

『風の日和 伊藤信吉生涯の足跡』 飯塚 薫採録・著 群馬県立土屋文明記念文学館 2009 K915.02 I91 =91

『伊藤信吉論 未完の近代を旅した詩人』 東谷 篤著 沖積舎 2010 K915.02 I91 =0Z ○

《その他》

『上毛文化 第1巻』 上毛文化会編 国書刊行会 1982 K005 J69.2 2(1) 第一巻第四号 七月号 p.26-29 碑文の背面-1)、『第一巻第六号 九月号 p.25-28 碑文の背面-2) 伊藤信吉

『群馬学の確立にむけて 4 群馬学連続シンポジウム』 群馬県立女子大学編 上毛新聞社事業局出版部 2011 K2 91 =53 (4) ○ p.230-288 第15回群馬学連続シンポジウム 伊藤信吉と群馬 平成21年 於・群馬県立女子大学講堂

『群馬のことばと文化』 群馬県立女子大学編 [群馬県立女子大学] 2007 K810 =77 ○ p.43-68 詩人伊藤信吉と群馬のことば 梁瀬和男著

『私の村ことば 伊藤信吉方言メモ』 飯塚薫編 群馬県立土屋文明記念文学館 2002 K850 =2Y ○

『上州の文学紀行』 朝日新聞前橋支局編 煥乎堂 1969 K902 A82 p.80-83 伊藤信吉「暗い谷間」での青春

『上毛文学散歩』 新上毛文学散歩編集委員会編 煥乎堂 1978 K902 J69 ○ p.1-4 序 懐郷の情感とその地誌 伊藤信吉

『群馬の文学碑』 相葉有流監修 市川為雄監修 上毛新聞社 1979 K902 テ9X p.76-77 伊藤信吉

『すばる』 2002年10月号 片柳治編 集英社 2002.1 K902.8 I89 =2X 追悼 伊藤信吉 p.126-127 帰宅(絶筆)、p.128-157 室生犀星満州国の旅第二篇『大陸の琴』 棄子捜し・孤児のさすらい 伊藤信吉、p.158-175、178-189

未完遺稿「続室生犀星」伊藤信吉、p.176-177 解題 暮尾淳、p.190-193 追悼伊藤信吉 ヘルペス島から戻って来て 飯島耕一、194-196 薔薇の酒 水上勉、p.196-207 伊藤さんの手紙 司修、p.208-209 夏の蝶 暮尾淳

『群馬の作家たち』 土屋文明記念文学館記念リブレ(塙新書74) 土屋文明記念文学館編 塙書房 1998 K902.8 +86 p.64-65 伊藤信吉

『群馬の詩人 -近現代史詩の革新地から』 第16回企画展 群馬県立土屋文明記念文学館編 2004 K906 +767 (11) p.33 伊藤信吉

『風』 文学紀要 群馬県立土屋文明記念文学館 K906 +70

1号p.1-8「阿部家資料の傍らに」-伊藤信吉 飯塚林朔・幸徳秋水手帳の近衛兵、工藤六太郎・資金調達依頼の調書、2号(巻頭)タマにはオタクラー伊藤信吉、3号p.95-104 紹介 天野桑古家集と版木-伊藤信吉、4号p.1-11 紹介 田中辰雄 夭折した歌人・作家-伊藤信吉、5号p.1-7 暮鳥・上州アヴァンギャルドの回顧-伊藤信吉、8号p.1-3 日露戦争従軍作家と歌人-伊藤信吉、14号p.1-14 詩人と風土 伊藤信吉 上州をうたったアンソロジー「風色の望郷歌」-岡田芳保

『群馬文学全集 第1巻~第20巻』 伊藤信吉監修 群馬県立土屋文明記念文学館 1999-2003 K908 +91 (1)~(20) ○

『詩の上州展 草野心平と群馬の詩人たち』 いわき市立草野心平記念文学館編 いわき市立草野心平記念文学館 2005 K910 +=5X ○ p.32-33 伊藤信吉 「学校」の詩人たち

『群馬の詩人たち POETSINGUNMA』 上毛新聞社出版局書籍編集課編 上毛新聞社 1996 K910 +68 ○ p.66-69 上州弁で新天地を開いた詩人 伊藤信吉

『歷程(戦前版) 昭和14年発行の複製版』 日本近代文学館 1985 910.5 ト5X (1) 四月号 p.16-17 永日 伊藤信吉(以下同)、第七号 p.13-23 萩原恭次郎氏の回顧、第八号 p.3-18 草野心平氏に就いて、第九号 p.1-16 三好達治氏に就いて、第十号 p.1-15 千家元麿氏に就いて、第十一号 p.5-21 蒲原有明論、第十六号 p.10 六月、p.11 贈る、第十七号 p.30-31 秋、第十八号 p.21-40 北方-萩原朔太郎論序説)、第二十四号 p.18-25 現代詩の構造、第二十五号 p.25-32 伝統の形成、第二十六号 p.21-25 感性の限界、別冊解説 p.10-17 全二十六冊の年月

『歷程詩集 1965 詩と詩論』 草野心平編集 歷程社 1965 911.56 Ku84 ○ p.198-219 歷程座談会『現代詩とは何か』 伊藤信吉ほか、p.519-520 「歷程賞」のこと 伊藤信吉

『現代日本詩人全集 第4巻』 創元社 1992 911.56

『季刊詩誌「無限」 第12号 1962冬季号』 東京 政治公論社無限編集部 1962 K915.02 H14 ツ2Z p.150-153

「浄罪詩篇」の周辺(解説として) 伊藤信吉、p.174-198 座談会 萩原朔太郎の世界 伊藤信吉、萩原葉子、吉田精一、村野四郎、草野心平、慶光院美沙子、三好達治

『歷程 No.369(1990.2)』特集:追悼草野心平 [歷程社編] 歷程社 1990 K915.02 Ku84 +02 p.49-51 監獄・前橋での一コマ 伊藤信吉

『詩のふるさと前橋』 野口武久著 前橋観光協会 1977 K915.02 N93 ○ 口絵 旅 伊藤信吉、序 伊藤信吉、p.2 49-286 伊藤信吉

『昭和詩鈔』(富山房百科文庫99) 萩原 朔太郎編 富山房 1940 K915.08 タ03 p.334-335 光に就いて、p.336-338 粗林、p.339-341 夜警 伊藤信吉

【雑誌】

『AERA』 第3巻第30号通巻117号1990.7 朝日新聞出版[編] P.42-44 上州詩人、赤煉瓦の郷愁

『朝日ジャーナル』 21(29) p.96-101インタビュー 伊藤信吉 インタビュー 木内宏 上州派詩人における叙情と政治の間-ユートピア追う人間に魅かれるねえ(にんげん訪問)、22(48) p.52-57 伊藤信吉 黒い鐘楼の下で-非戦・大逆事件に見る朔太郎像-上-少年詩人の異声、22(49) p.52-56 伊藤信吉 黒い鐘楼の下で-非戦・大逆事件に見る朔太郎像-中-観念論者の奇妙な位置、22(50) p.48-53 伊藤信吉 黒い鐘楼の下で-非戦・大逆事件に見る朔太郎像-下-憤(いきど)まり、25(15) p.65-69 伊藤信吉 風色の望郷歌-4月-憂きことあるとき共に憂い、25(19) p.52-57 伊藤信吉 風色の望郷歌-5月- 上州は桑原十里 桑の実の赤きを…、25(25) p.85-89 伊藤信吉 風色の望郷歌-6月-帰命頂礼蚕影さま 蚕の由来を、25(29) p.72-77 風色の望郷歌-7月-土用半ばに秋風が吹く、25(33) p.73-78 風色の望郷歌-8月-ちよいと出ました三角野郎が、25(36) p.91-96 風

色の望郷歌-9月-電灯(でんき)が呼吸(いき)をつく、25(42) p.63-68 風色の望郷歌-10月-死なば十月、中十日、25(47) p.76-81 風色の望郷歌-11月-額(ひてえ)で胡麻(ごま)を炒るような日だ、25(50) p.67-72 風の望郷歌12月 おらあ檻樓(ぼろ)ずーるずる、26(3) p.48-53 風色の望郷歌-13月完-唐土の鳥が渡らぬ先に

『かぶらはん』587号他 松井保編 鐘畔の会 「伊藤信吉研究」 梁瀬和男

『鼎』浅田晃彦編 高崎 あさを社 第1巻3号 1974.8 回想の上州(1)~ 第2巻8号 1975.8 p.44-48 回想の上州(12)

『群馬風土記』第21巻第1号通巻88号 2007年冬季号 群馬出版センター[編]

p.119-122 群馬の詩書探求39 伊藤信吉著『回想の上州』 梁瀬和男

『現代詩手帖』第45巻10号 2002.10 思潮社 p.83-95 追悼・伊藤信吉

『国文学 解釈と教材の研究』學燈社 第45巻1号 通巻650号 2000年1月 (特集 萩原朔太郎はどこへ行ったか)

2000 p.124-126 特集 萩原朔太郎 上方の人・上州の人 伊藤信吉

『国文学 解釈と鑑賞』至文堂編 東京 ぎょうせい

19(11), p.1-6 現代詩とは何か、19(12) p.23-27 詩-1954年度の収穫、23(3) p.6-10 詩から散文へ、31(1) 若菜集(島崎藤村)、31(5) p.70-77 自由詩のリズム-時代によるしらべの受けとめ方、31(9) p.162-166 萩原朔太郎研究-出生と家庭の環境、生地のことなど、31(10) p.156-161 萩原朔太郎研究(2)-出生と家庭の環境、生地のことなど、31(11) p.185-193 萩原朔太郎研究(3)-出生と家庭の環境、生地のことなど、38(15) p.138-139 伊藤信吉、42(7) p.27-36 乃木坂倶楽部アパート-回想と共に(萩原朔太郎その魂の漂泊)- (朔太郎・詩人の魂)、43(2) p.14-23 思想性をめぐって(室生犀星-ふるさととは遠きにありて) - (犀星・その人と文学)、49(9) p.10-16 私の高村光太郎-「六無」の系譜(高村光太郎<特集>)、67(8) p.10-17 萩原朔太郎の戦争文学(特集 萩原朔太郎の世界)

『朔太郎と私 現代人に息づく詩人像』水と緑の詩のまち前橋文学館編 前橋 水と緑と詩のまち前橋文学館 1995

p.211-212 監修のことば「私の朔太郎」小感 選考委員長 伊藤信吉

『詩人会議』2004年11月1日 東京 詩人会議編(青磁社発売)p.30-40人と作品を語る(鼎談)飯塚薫・岡田芳保・久保田穠

『週刊朝日』第107巻19号通巻4498号 '02.5/3・10合併特集号 朝日新聞出版[編]p.162-163 伊藤信吉 95歳の一日がとても短い だからこれ以上年を取れない

『上州路』関口ふさの／編 高崎 あさを社

第2巻9号通巻16号 1975.9 回想の上州(13)~第3巻9号通巻31号 1976.12 回想の上州(最終回)

第13巻第8号通巻149号 1986.9 p.32-39 朔太郎の離郷前・上京時のこと 伊藤信吉

第30巻11月号通巻354号 2003.11 特集 語り尽くせぬ詩人-伊藤信吉を偲ぶ p.9-15 ヒツパタキ・イヤリング・秋夜算数への想い 詩人・梁瀬和男、p.16-18 伊藤信吉さんを偲んで 郷土史家・近藤義夫、勘六山房の一夜 詩人・岡田芳保、p.21-23 優しかった伊藤信吉先生-上州路の編集者時代に ライター・久保田淳子、p.24-32 兄信吉を偲んで 実弟・伊藤秀久

第32巻10月号通巻377号 2005.10 p.4-6 伊藤信吉 「上州」の文化的伝統の発酵 野口武久

第33巻11月号通巻390号 2006.11 p.26-34 朔太郎の離郷前・上京時のこと 伊藤信吉

『上州風』上毛新聞社[編] 上毛新聞社出版局

創刊号 p.8-11 波宜亭・かの待たれびと 伊藤信吉、12号 p.1-10 追悼特集 伊藤信吉、逝く。伊藤さん さよなら 司修、追悼文 石垣りん 暮尾淳 小寺弘之 那珂太郎、「上州」という文字のある著作 梁瀬和男、この時の流れに嘆きを捨てん 岡田芳保、談 関根春江

『新潮』新潮社

57(8) 室生犀星と中野重治-特集・師弟 伊藤信吉(以下同)、71(7) p.134-135 受賞のことば(第2回平林たい子文学賞発表 伊藤信吉「ユートピア紀行」)、72(4) p.111-148 家庭崩壊の日の萩原朔太郎、75(5) p.139-145 伊藤信吉歌集「空いろの花」の発見-萩原朔太郎の遺稿をめぐって、76(10) p.160-163 歌三首の傍えに(追悼・福永武彦)、76(11) p.183-187 遠く近く五十年(追悼・中野重治)、95(12) p.176-179 「驢馬」の途(みち)の傍らで-追悼 佐多稲子

『すばる』2001年9月号 第23巻9号 集英社 p.142-166 九十四歳の不仕合せ 伊藤信吉 老言

『蠶』水野真由美[ほか]編 前橋 蠶の会

創刊号p.2-3 俳句 花々 伊藤信吉、第2号p.10-11 俳句 夕方・晩方・宵の頃、第3号p.8-9 俳句 風すこし春、第4号p.4 俳句 秤台、第5号 p.50-51 伊藤信吉著作集第5巻と八月三日のこと 三井葉子、p.62 絶筆・昼花火、p.63 伊藤信吉最期の十六句 瀧沢友子、p.64-65 伊藤信吉 上州横浜市民、第6号 p.18-19 伊藤信吉さんとのお酒 暮尾淳、p.20-21 伊藤信吉さんおたくら 片柳治、p.22-25 古稀からの再スタート 江里昭彦、p.26-28 伊藤信吉俳句鑑賞-追悼に代えて 林桂 p.29-31伊藤信吉さんお別れの会・東京 水野真由美 p.32-33 上州っ子伊藤さん-お別れの会・群馬 佐藤清美

『短歌研究』短歌研究社 14(1) p.78-86 伝統詩と現代詩との接点-1- 伊藤信吉(以下同)、14(2) p.6-11 伝統詩と現代詩との接点-、14(4) p.38-45 第三の詩のために、14(11) p.26-37 「愛誦」についての回想、19(1) p.88-91 魅惑性の文学-現代詩の可能ということ

『中央公論』芸芸特集 6(3), p.150-171, 1989-09 叙情的往来の断片 伊藤信吉

『日本古書通信』日本古書通信社

56(6) p.18-20 「マヴォ」とその縁辺(上)-大正期芸術革命回想の片々 伊藤信吉(以下同)、56(7) p.8-10 「マヴォ」とその縁辺(中)-大正期芸術革命回想の片々、56(8) p.5-8 「マヴォ」とその縁辺(下)-大正期芸術革命回想の片々、59(2) p.2-4 30年かけての刊行-「激動期の詩と詩人」をめぐって、60(4) p.2-4 「噫東京」「災禍の上に」-関東地方大震災詩集2冊と詩人たち、60(10) p.8-11 刑務所印刷・製作の詩歌誌、詩歌集-1-前橋市宗甫分甲309、60(11) p.4-7 刑務所印刷・製作の詩歌誌、詩歌集-2-前橋市宗甫分甲309、60(12) p.10-12 刑務所印刷・製作の詩歌誌、詩歌集-3-前橋市宗甫分甲309、61(1) p.16-17 前橋市宗甫分甲三〇九-刑務所印刷・製作の詩歌誌・詩歌集-4完-、63(12) p.7-8 中古い書冊-5- 柳河語・その美的方言、64(2) p.4-6 中古い書冊-6- 「エエテル匂ふ」、65(1) p.2-3 詩人たちの年号

『俳句』角川学芸出版[編] 23(12) 1974.12 p.22-24 古い歳時記 伊藤信吉

『俳句研究』36(2), 60-69, 1969-02 抒情の周辺[第5回現代俳句全国大会講演] 伊藤信吉

『**風雷**』風雷同人会編 前橋 風雷同人会 No.66 佐藤緑葉について(上) 伊藤信吉(以下省略)、No.68 佐藤緑葉について(中)、No.69 佐藤緑葉について(下)、No.75 二人の革命家像(佐藤緑葉・続編)、No.77 佐藤緑葉補遺一件、No.81 北下浦の家、No.82 歌人・田中辰雄小論1、No.83 歌人・田中辰雄小論2、No.84 歌人・田中辰雄小論3、No.86 冬至十日前、No.87 郷土史の傍らに、No.88 貴族論ノート 萩原朔太郎についての一断片、No.89 老年の場、No.90 冬至すこし前、詩 萩町一九七七・七、二五、No.91 石倉の家の周辺 萩原恭次郎没後五十年に因んで、元総社の風土 伊藤信吉研究(以下「研究」)(1) 梁瀬和男(以下「梁瀬」)、No.92 詩 桑並木の街で、わらべ唄に見る幼年時代 研究(2) 梁瀬、No.93 エッセイ 梅雨のあいだに、抒情の源流 研究(3) 梁瀬、No.94 冬至九日前、詩的自立への始動 研究(4) 梁瀬、No.95 囚人墓地にて 監獄裏の林・その文学的拾遺、詩の変容と「内的分離」研究(5) 梁瀬、No.96 詩人 東宮七男追悼 弔辞、『耽美祭』からの転換 研究(6) 梁瀬、No.97 蟻川直枝 上州方言詩の中の人、詩誌『学校』と詩的アナキズム 研究(7) 梁瀬、No.98 無為の前後、渋谷神南・大森谷中・中目黒 研究(8) 梁瀬、No.99 飯塚林朔 幸徳秋水手帳の近衛兵、プロレタリア詩のなかへ 研究(9) 梁瀬、No.101 「全協」と「モップル」の時代 研究(10) 梁瀬、No.102 詩 だめの花、深沼火魯嵐・断片『ナツ』編集部員へ 研究(11) 梁瀬、No.103 深沼火魯嵐の来し方、1931年・その文学的地点 研究(12) 梁瀬、No.104 詩 桑、階級的詩論の開拓 研究(13) 梁瀬、No.105 詩 盆、作品二篇の思想的原風景 研究(14) 梁瀬、No.106 火の花・火車花、文学運動からの離脱と自責 研究(15) 梁瀬、No.107 詩 骨折して、詩集『故郷』研究(16) 梁瀬、No.108 詩 秋冷、文学評論への志向 研究(17) 梁瀬、No.109 「監獄裏の林」周辺(上) 萩原朔太郎作品に因んで、島崎藤村論への傾注 研究(18) 梁瀬、No.110 「監獄裏の林」周辺(中) 萩原朔太郎作品に因んで、産業組合党 研究(19) 梁瀬、No.111 高橋元吉文化賞前後、「監獄裏の林」周辺(下) 萩原朔太郎作品に因んで、元総社在住最後の年 研究(20) 梁瀬、No.112 囚人印刷の歌集「監獄裏の林」延長線上の点点、宇都宮時代 研究(21) 梁瀬、No.113 九月はじめ二件、囚人印刷の詩集「監獄裏の林」延長線上の点点、『土の唄と民話』とその周辺 研究(22) 梁瀬、No.114 大沢雅休をめぐって、『現代詩人論』(その1) 研究(23) 梁瀬、No.115 詩 岩鼻町で年代風に、『現代詩人論』(その2) 研究(24) 梁瀬、No.116 春・久留米の旅、『現代詩人論』(その3) 研究(25) 梁瀬、詩 眼鏡、戦時重圧下の文学 営為 研究(26) 梁瀬、No.118 内側ガラ空き、小学館版『萩原朔太郎全集』(その1) 研究(27) 梁瀬、No.119 小学館版『萩原朔太郎全集』(その2) 研究(28) 梁瀬、No.120 伝承のわくら葉、敗戦前夜の営為 研究(29) 梁瀬、No.121 佐藤緑葉 農村・郷土色作品のこと、交通労働研究所の設立 研究(30) 梁瀬、No.122 佐藤緑葉の死 ヒックブリや服毒自殺など、佐藤緑葉2 農村・郷土作品のこと、詩誌『詩人連盟』刊行の周辺(その1) 研究(31) 梁瀬、佐藤緑葉3 農村・郷土作品のこと、詩誌『詩人連盟』刊行の周辺(その2) 研究(32) 梁瀬、No.124 月島二号地で(緑葉4) 都市生活と工場地帯、『新日本詩人』時代の著述 研究(33) 梁瀬、No.125 再・石倉の家の周辺、詩の鑑賞の新領域 研究(34) 梁瀬、No.126 『死の灰詩集』の時代 研究(35) 梁瀬、No.127 詩 廣瀬川・石川橋で、内灘と『季節』—その詩的地点 研究(36) 梁瀬、No.128 赤錆二句 散文詩、『季節』と高村光太郎論 研究(37) 梁瀬、No.129 浅田晃彦氏追悼『乾坤独算民』の作家、生活性の文学への協同 研究(38) 梁瀬、No.130 詩的アナキズムへの回想 研究(39) 梁瀬、No.131 大逆事件への論究 研究(40) 梁瀬、No.132 全詩集大成の解説 研究(41) 梁瀬、No.133 九州・旅の手帳(上)、萩原朔太郎年譜 研究(42) 梁瀬、No.134 九州・旅の手帳(中)、『高橋元吉詩集』研究(43) 梁瀬、No.135 九州・旅の手帳(下)、詩的紀行・その分野の独自性 研究(44) 梁瀬、No.136 旅先での甕算、伊藤詩学の著作 研究(45) 梁瀬、No.138 満九十歳直後に、萩原恭次郎の詩作品周辺 研究(46) 梁瀬、No.139 萩原朔太郎研究会発足の頃 研究(47) 梁瀬、No.140 『近代詩集』の群馬の詩人 研究(48) 梁瀬、No.141 桃花村の詩人 研究(49) 梁瀬、No.142 『ユートピア紀行』研究(50) 梁瀬、No.143 座談会「何ぞや歴史」研究(51) 梁瀬、No.144 p.4-5 カラタチの垣根、第二詩集『上州』研究(52) 梁瀬、No.145 詩人の俳句観 研究(53) 梁瀬、No.146 六月三十日にヒル花火を！、『マックラサンベ』の周辺 研究(番外編) 梁瀬

『**文学**』岩波書店 29(9) 伊藤信吉 近代象徴詩の展開、30(6) 伊藤信吉 詩碑のほとりで、30(10) 伊藤信吉 高踏派の詩について—近代象徴詩とのかかわりにおける試論、31(12) “詩的デカダン”について、34(5) 伊藤信吉 変革点の詩人たち(上)—形式革命と革命芸術のかかわりについて、34(6) 変革点の詩人たち(中)—形式革命と革命芸術のかかわりについて、34(7) 変革点の詩人たち(下)—形式革命と革命芸術のかかわりについて、53(1) 対談 伊藤信吉、大岡信 プロレタリア詩とその周辺(プロレタリア詩の時代)、53(1) 白鳥省吾の世界—上—民衆派のプロレタリア詩的先駆性(プロレタリア詩の時代)、53(6) p.42-51 白鳥省吾の世界—中—民衆派のプロレタリア詩的先駆性、54(6) 白鳥省吾の世界—下—民衆派のプロレタリア詩的先駆性

『**文学界**』文藝春秋 9(7) 1955.7 現代詩をどう読むか 伊藤信吉

『**文学館通信**』群馬県立土屋文明記念文学館[編]

Vol.1 1997.7 表紙 開館満一年の日に 土屋文明記念文学館長 伊藤信吉、p.3 伊藤信吉館長の懐かしさ、p.5 伊藤信吉先生のこと 萩原葉子、Vol.2 1998.6 p.3-5 「館長日記」抄 伊藤信吉、Vol.3 1999.1 p.3 『群馬文学全集』のこと 最初の四巻の送り出しに当たって 伊藤信吉

『**文芸**』河出書房新社 1962.6 1(4) p.196-207 近代詩の終焉 一時代の詩人たちの住来とその死 伊藤信吉(以下同)、1976.5 15(5) p.230-245 「郷土望景詩」の地誌[上]—萩原朔太郎生誕90年の年に、1976.6 15(6) p.241-255 「郷土望景詩」の地誌(下)—萩原朔太郎生誕90年の年に

『**前橋文学館報**』前橋文学館[編] 前橋 萩原朔太郎記念水と緑と詩のまち前橋文学館

No.3 1996.3 p.4-7 ふるさとの文学を語る 伊藤信吉・加賀美幸子トーク 第25回前橋文学館アートステージより

No.4 1996.8 p.2-5 献呈署名の古い自著 伊藤信吉

『**ユリイカ**』Eureca 詩と批評 青土社 11(6) p.158-167 1979-05 上州の詩人たち—萩原恭次郎と萩原朔太郎の交友(萩原恭次郎論) 伊藤信吉

【視聴覚資料】

『**望郷の詩人伊藤信吉**』[ビデオ] (群馬に生きる)各30分カラーVHS I 群馬県教育委員会 V91K イ 232

【インターネット情報資源】

伊藤信吉 (Wikipedia)

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%BC%8A%E8%97%A4%E4%BF%A1%E5%90%89>

伊藤信吉の会 (伊藤信吉の会)

<http://www015.upp.so-net.ne.jp/kazekanmuri/itoh/itoh.htm>

伊藤信吉 (前橋の詩碑)

http://www15.wind.ne.jp/~Glauben_leben/Shihi/ItouSinkiti.html